

奈良西

3

ロータリークラブ

便り

奈良西ロータリークラブ

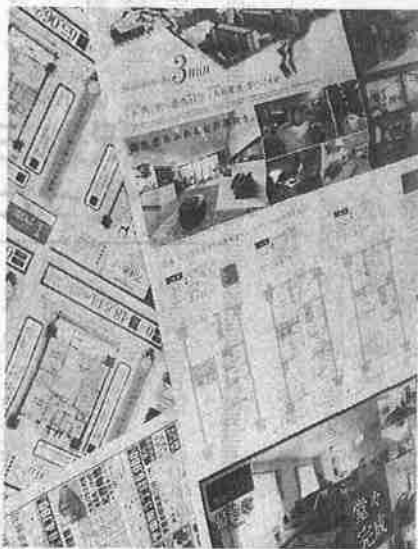
猪上 正孝さん(49)

一般的には入学や転職、異動などがある2、3月と9～11月ごろに、不動産の売買が多くなると言われる。そのため、新聞などに折り込まれる不動産広告も多くなる。消費者の誤解を招く恐れが生じる。

住宅購入の際の情報源としては、新聞折り込みや自宅へのチラシ、住宅情報誌、そしてインターネットが挙げられる。こ

こんなはずじゃ、と思う前に

新聞折り込みなどでよく目にする不動産広告チラシ



法」による定め(誇大広告の禁止、広告の開始期限の制限、取引態様の明示義務)をはじめ、不動産公正取引協議会による「不動産の表示に関する公正競争規約」で細かな広告表示ルールが定められている。

の分数、用途地域、建坪率、容積率、間取り、販売価格といった内容が記載されている。購入後の住環境を気にするなら、用途地域の欄を確認しよう。

また、業界団体による自主規制の取り組みもある。電柱などに立てかけ

用途地域とは、都市計画法で建築できる建物と高さ、規模などを制限した12種類の地域のこと。住居、商業、工業の3系統に分かれている。駅周辺は商業系の地域が多いため、住宅系の地域と比べて日照条件の規制が緩く、高い建築物を建てたり、パチンコ店などの娯楽施設を建設できるケースが多くある。駅に近い利便性はいいが、将来街並みが変わりやすい。

いるので、読む気が失せるかもしれないが、ここを読めばどんな物件なのか分かる。

「物件概要」には、物件の所在地や最寄駅から

「物件概要」確認して

毎月第3月曜日掲載